

熱気むんむん 光燦会同窓会

光燦会(高3回卒)同窓会は昨年9月24日午後6時から福岡市南区の料亭「木曾路」にて、六組の幹事一同(貞方道夫・石川雄他)の世話で開催。参加者は58名。本学年は旧制中学で入学、高校2年編入で、最後の男子学年とあって、男気むんむんの盛会さであった。大橋で初めての同窓会開催であったので、熊野道祖神社のある塩原に住む幹事の田村猛君の世話により、道祖神社の飯田祐一神職にご来場頂き、光燦会会員の健康祈願のお祓いを受けた。

京・大阪筑紫丘全学同窓会支部の参加者がひと頃の3倍近くに増えて、益々盛会になっているとの報告もあった。光燦会は学年代表幹事・石橋憲行ほかの新体制のもと、今後とも同窓会を続けて行くことを決議した。

高橋栄敏(高3)

古希・卒業50周年記念 同窓会のお知らせ(高13)

同期の皆さん如何お過ごしでしょうか。私たち高校13回同窓生も古希を迎えることになりました。同時に卒業から50年、半世紀です。そこで在福の有志を中心に節目の年を記念して同窓会を企画いたしました。

来賓として、本年度4月より赴任の友枝文也校長より、進学の状況やクラブ活動などの現状の話があった。また、田中義明同窓会長より、東

母校あつての自分、恩返しを

PTA会長 村上 隆英(高26)

私は平成22年度PTA会長を仰せつかっている村上です。仕事は地元福岡でマーケティング・リサーチとコンサルティングを行う会社を経営しています。元々勉強嫌いで学生時代をだら〜と過ごし、就職後に仕事に燃え、勉強強をしましたが、遅かったと反省した者です。



講演中の村上隆英さん

高校時代はラグビー部に在籍しましたが、中途半端だったと後悔し、社会人クラブチームを創部しました。仕事の傍ら主将から監督としてチームを率い、勝つチーム作りを進め、実現できたことが自負できます。シ

チームは福岡県で優勝後、現在は九州トップリーグで戦うチームになりました。一方で母校ラグビーには年に1、2回しか顔を出せなかったのですが、2年前に同部OB会長の上田幸造先輩(高15)から「お前、副会長になれ」と命令され、拝命しました。受けた以

13年ぶりの決勝戦を宝物に

ラグビー部監督 不老 貴規(教諭 高42)



東福岡高相手に奮闘したラグビー部

平成22年11月13日、ラグビー部は、第90回全国高校ラグビーフットボール大会福岡

き合い、基本プレーを重視した厳しい練習に取り組んできました。

上は、強い筑紫丘復活に向け、OBが一丸となりラグビー部を支え、運営に取り組んでいます。昨秋の花園予選大会では決勝戦進出し、とても嬉しく思っています。

もう一つ、偉が本校に在籍中と知った当時のPTA会長の喜島君(同級生)から、今度はPTA副会長にならんかと誘われました。これを受けては会社が潰れると固辞しましたが、説き上手な彼の攻撃にほだされ、引き受けました。

私の高校時代は既定枠外タイプの生徒でしたから、当時の先生方から格別の配慮によって無事卒業させて頂いた者として、PTA会長を拝命するなど、当時の私を知る方々は違和感も大きいかと思えます。しかし、

恩師の安東司朗先生に相談すると大変喜ばれ、母校への恩返しの念が強まり、お役に立てるよう務めております。私が経営する会社は、企業のマーケティング戦略に関わるリサーチ、コンサルティングの会社で創業以来24年経ちましたが、小社の活動が経済成長・発展に貢献できたり、地域振興・まちづくり、商業・観光振興の分野でも役立つよう頑張っています。一部にはアジアでのビジネス開拓を進め、これからの日本・九州がアジア(特に台湾・ベトナム・中国)との連携を強めて発展できるようにサポートも行っていきます。会社に母校卒業の新員

振り返ると反省の多い人生ですが、母校卒業生である誇りは社会人になって強く感じます。卒業後37年も経って母校に行く機会も増え、深い繋がりを持つようになったことは実に感慨深いものです。次のPTA会長を引き受けてくれた中山君も26年生で、同級生3人が大役を背負うのも珍しい巡り合わせでしょう。また私の父、英彦(中6・故人)と倅の親子三代が続くのも嬉しいことです。

このような関わりの下、同級生や先輩後輩、教職員の皆さん方と手を携えて母校の発展にお手伝いできる喜びも感じております。そして、この紙面で皆様と触れ合うことをお求めいただいた同窓会関係者の皆様にも感謝申し上げます。

日時 10月23日〜24日
場所 原鶴温泉・六峰館
連絡先 事務局 井上鴻一
092(781)2111
幹事 山岸紀一
0942(75)2638

そして年間通して熱心な指導をして頂いた角博さん(高33)を中心としたコーチの皆様、また、熱心に足を運び、体を張って指導してくれた地元の大学、企業で頑張っている若手OBのおかげです。

それだけに花園出場を勝ち取って生徒とともに喜び、お世話になった皆さんに恩返しをしたかったです。が、ありませんでした。

学校からも全校応援で、先生方や生徒から大きな声援を頂きました。ラグビー部員にとって一生忘れることのない1日として、心に刻まれたことだと思えます。本当にありがとうございました。

今後ともラグビー部へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。決勝進出のご報告とさせていただきます。

高28回、楽しく修学旅行

昭和49年10月、28回生の修学旅行は四泊五日(男女クラスは前後から寝台車で先発)で上高地・黒部第四ダム・立山登山・金沢・東尋坊・永平寺、大阪南港から新門司港へフェリーで帰って来るという強行軍でした。

高連峰の気高さはそのまま！宴会では当時を思い出し大盛会となり、2次会では筑高体操やトランプをして、すっかり気分は高校生に戻っていました。翌日、明神池散策も往復2時間、二日酔いを忘れ話は尽きませんでした。

部長の私をはじめとして、元々俳句の初心者ばかりが集まったクラブですから、主旨は句の優秀を競うことではありません。創造を楽しむこと、部員相互の交流を愛おむことを本意としています。部員は、お互いの個性を尊重し、クラブは文学的、詩的世界を遊戯する、自由にエキセントリックなネットワークを目指しています。

俳句愛好者集い7年 丘ふみ游俳俱樂部

「丘ふみ游俳俱樂部」は筑紫丘高校の第23期卒業生を母体として03年に生まれたネット上の俳句クラブです。10年10月現在で、74号を発行中。40年前、実際に指導を受けていた体育の白川昌弘先生が、顧問のような形でクラブに参加されているのも何か不思議な縁です。

形勢は月間俳句誌ですが、「無法投区」というコーナーでは、俳句以外にも自由な表現の場を設けています。詩、短歌、エッセイ、写真でも絵でも書でも、どんな表現形態の作品でも投稿できます。

「丘ふみ」創刊から7年目、本格的に俳句にのめりこんだ仲間たちは、今では活動の場をさらに広げ、地元の俳句結社や俳句総合誌上でも大変な活躍ぶりです。創刊一〇〇号まであと2年、全員の変遷祝までも、あと2年です。(笑)

初殻を焼き四方山を収めけり
昭和八十五年 晩秋
「丘ふみ」部長
中島 葱男(高23)



上高地の自然を満喫した同窓会

盛大にゴルフコンペ開催

昨年10月19日(火)、晴天の中、第19回「筑中・筑高同窓会ゴルフコンペ」が141人参加のもと、筑紫丘ゴルフクラブで開催されました。

今回の当番会は23回、通称「丘ふみ会」です。昨年1月の常任幹事会での概要説明を皮切りに、実行委員会をスタート。会場選定や参加者数、参加記念品、賞品選定、案内状、組み合わせ作成など準備を進めましたが、大きな課題

にもぶち当たりました。それは参加記念品です。10年前の親善大会の当番時にネームタグを選定したのですが、キャンセルなどを考慮すれば、今回は別のものを選定するはずでしたが、如何せん面倒が起るネームタグ

最後に、盛会裏にコンペを終えることができました。関係者各位のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

実行委員長 西秀樹(高23)
成績は優勝 加藤 勉氏(高15)、2位 光安兼則氏(高12)、3位 篠塚武久氏(高16)。



優勝した加藤勉さん